

一般質問

宮本
議員

〇わくわく!! 水中考古学体験講座 in 鷹島について

質 国内初の水中考古学体験講座が開かれて、首都圏や関西などから全国の大学生や関係者ら48名（オンライン参加20人含む）が参加。これだけの多くの参加者を見て、どのような感想を持たれたか。また、松浦市が目指す「水中考古学拠点構想」と市民関係団体が目指す、元寇（蒙古襲来）の歴史的価値と国が推進する「文化観光」の資源として活用することで地域活性化につなげるべきかが考えられますが、市の意見を聞きたいと思います。

教育長 水中遺跡保護に取り組む講師による講義や鷹島でしか体験することのできない現地研修などのプログラムを実施し、参加者の反応も大変よかったので、大成功のうちに終わることができたと思っています。現地開催の強みや鷹島でしか体験できない内容などを検討しながら、本講座の最大の目標である水中遺跡保護の担い手育成の一助となるように取り組んでいきたいと考えています。

〇松浦高等学校魅力化対策について

質 京丹後市の女子高校生が、自分の生まれ育った丹後の海で眠る歴史を見つけないと…。そんな思いで始めたプロジェクト、女子高校生の呼び掛けに水中考古学の専門家が集まり、現在、クラウドファンディングで9月11日現在、402万7350円が集まって注目されていますが、そこで松浦高校魅力化対策の一つとして、松浦高校内に「水中考古学研究会」とか「まつこう水中考古学クラブ」の提案をしてはと考えますが、市としての意見をお願いします。

市長 「まつナビ・プロジェクト」のコンソーシアムで、市職員を講師として授業に派遣するなどの支援を行うとともに、松浦高校と連携し、松浦高校生が水中考古学に興味を持つ機会をつくることや、水中考古学研究センター特別顧問である池田教授を松浦高校に講師として招聘し、授業をしていただくことも可能だと考えています。受講した松浦高校生の皆さんが、松浦市の歴史に興味を持ち、地域課題解決に向けて取り組む「まつナビ」において、水中考古学をテーマとして研究することができれば大変喜ばしいと思いますので、引き続き「まつナビ」などの活動を通して、今後、松浦高校で水中考古学について研究したいと思う生徒が集まり、クラブ活動等につながることを期待して、校長先生におつなぎをしたいと思います。

一般質問

武部
議員

〇松浦党梶谷城跡、鷹島神崎遺跡を中心とした市内外元寇関連史跡を線でつなぐ観光の仕組みやモンゴル村を活用した観光、振興策について

質 元寇関連の史跡は市内外に広く点在している。松浦市内、対馬、壱岐、福岡などの地域を線で結ぶ観光の構築が活性化の道と考えますが、見解をお願いします。

地域経済活性化課長 元寇関連の史跡や遺物は、市内外に広く点在しています。これらを有機的に結びつけて、ゆかりのある土地を巡る観光ツアーを造成するなど、元寇の歴史を体感できるような観光の仕組みづくりを構築することが、今後、松浦市が取り組むべき施策であると認識しています。

観光振興を図る上で、本市が持つ観光資源を最大限に活用していくことはもちろんですが、それぞれを融合させ、より魅力ある観光コンテンツとして発展させていくことも重要な視点であると考えていますので、今後も引き続き地域の活性化につながるような観光施策の推進に努めていきたいと考えています。

〇新型コロナウイルス感染拡大防止対策と感染増に対応したJCHO松浦中央病院の公的医療機関としてふさわしい病床数について

質 新型コロナウイルスオミクロン株は非常に感染力が強く、感染者が増加し、松浦中央病院ではコロナによる入院患者が一般病床を圧迫し、救急患者の入院が危ぶまれてきているといわれます。現在67床を当初申請の87床に増床してほしいと思いますが、市長の考えを伺います。

市長 県の福祉保健部長に直接お会いし、本市の医療の状況、中央病院の病床、本市の病床減少の現状について訴えてきています。福祉保健部長からはそのことについて改めて内部で協議をしたいというお話をいただいていますので、まずは県における今後の調整、あるいは協議を待ちたいと思っています。

質 67床では病院経営は難しいといわれます。市民のために長く運営を続けていただくよう、市として救急補助金の見直しが必要だと思いますが、その考えをお持ちであるかお尋ねします。

健康ほけん課長 松浦中央病院の救急受け入れ状況というのがかなり多くを占める状況になってきていますので、今後は何らかの見直しは必要かと思っています。